

名雪祥代 1st Album 「Comfort」リリース記念 レコード発売ツアー第一弾！

〜クリアで透明感に溢れたサックスの音色が心に沁みわたる。

そこが彼女の個性であり、魅力に繋がっている・・・小川隆夫ライナーノーツより〜



9/21 Wed

営業時間 10時～14時

川西
(山形)

ライブスペースJam

山形県川西町小松2992

☎ 0238-42-4533

open 18:30 / start 19:00

Music charge ¥3000 (一般)

¥2000 (学生)

9/22 Thu 祝

仙台
(宮城)

仙台市市民活動サポートセンター

サポートシアター (地下1階)

仙台市青葉区一番町4-1-3

open 13:30 / start 14:00

Music charge ¥3000 (一般)

¥2000 (学生)

★ビストロ アンコールとのコラボ企画★

1drink&1food or 2drink ticket ¥1000 (当日販売)

～お問合せ・ご予約/只野ピアノ工房～

☎ 0220-34-3719

Email nayukins@yahoo.co.jp



Piano 谷川賢作



Bass 佐藤弘基



Drums 今村陽太郎



Perc 齋藤寛



名雪祥代 1st album 【Comfort】

1. When Lights Are Low (Benny Carter)
2. Today's Blues (Sachiyo Nayuki)
3. How Long Has This Been Going On? (George Gershwin)
4. Dream of Konitz (Kensaku Tanikawa)
5. 煉瓦頌 (Kensaku Tanikawa)
6. All The Things You Are (Jerome Kern)
7. Nostalgie (Sachiyo Nayuki)
8. A Night In Tunisia (Dizzy Gillespie/Frank Paparelli)
9. Body And Soul (John Green)

2016.9.14 On Sale !
¥2,000 (本体価格)+税

Amazon・disk union
HMV・タワーレコード他
全国大手CDショップにて

2016.9.14 販売開始！



名雪祥代 (なゆき さちよ / サクソフォン)

宮城県出身。昭和音楽大学(神奈川県)器楽学科管弦楽科へ進学、途中演奏家コースに変更。その後、より学びを深める為に昭和音楽大学院へ進学。大学卒業時、優秀賞を受賞して卒業。大学主催卒業演奏会に出演、読売新人演奏会出演、コンセールヴィヴァン新人オーディションにて優秀賞受賞、受賞者コンサートに出演、昭和音楽大学オーケストラとコンチェルトソリストとして共演。在学中からプロオーケストラでのエキストラ出演他、自身のカルテットなどでリサイタルを開催する等、クラシックプレイヤーとしての研鑽を積んだ。2003年、仙台へ拠点を移す。その時、定禅寺ストリートジャズフェスティバルに感銘をうけジャズプレイヤーへの転向を決意、ジャズの道を歩み始める。故・岩浪洋三氏(ジャズ評論家)企画のジャズライブ(六本木・吉祥寺等)にゲスト出演した事をきっかけに東京へも活動の枠を広げ、ウィリアムス浩子(Vo)「MY ROOM side 3」CDレコーディングに参加する他、谷川賢作(Pf)近藤和彦(Sx)安川大樹(B)など、数々の著名なプレイヤーとの共演を重ねている。その演奏は正確なサクソフォンの奏法に裏付けされたテクニックと、歌心溢れる女性的な表現力、男性的な力強いサウンドの両方を併せ持つと定評がある。現在はジャズプレイヤーとして仙台を中心に東北各地で演奏活動をする傍らヤマハ音楽教室講師、仙台ジャズスクール講師として、音楽の楽しさを伝える仕事にも力を入れている。クラシックサクソスを宗貞啓二、武藤賢一郎、古溝徹の各氏に、ジャズサクソスを津上研太、安田智彦の各氏に師事。



谷川賢作 (たにかわ けんさく 作 / 編曲家 ピアニスト)

1960年東京生まれ。ジャズピアノを佐藤彦彦に師事。演奏家として、現代詩をうたうバンド「DiVa」ハーモニカ奏者続木力とのユニット「パリヤーン」、また父である詩人の谷川俊太郎と朗読と音楽のコンサートを全国各地で開催。80年代半ばより作・編曲の仕事をはじめ、映画「四十七人の刺客」「竜馬の妻とその夫と愛人」NHK「その時歴史が動いた」テーマ曲等。88、95、97年に日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。近年では、06年びわ湖ホール制作「雷の落ちない村」の音楽監督(コンサートライブCD「雷の落ちない村」13年7月にリリース)ピアニスト館野泉に組曲「スケッチ・オブ・ジャズ」を献呈。画家、山本容子の絵とエッセイで綴る「Jazzing」の音楽プロデュース。兵庫県立芸術文化センター制作の音楽劇「赤毛のアン」富山県文化振興財団委嘱作品「少年少女のための交響詩 ～めざめる羽 はばたく四季」(作詩/覚和歌子)2009年3月初演。金沢ジュニアオペラスクール第二期音楽監督。兵庫県立ピッコロ劇団「星つむぎの歌」「ピッコロ版・星の王子さま」映画「カミハテ商店」(2013 おおさかシネマフェスティバル音楽賞受賞作品、監督・山本起也)音楽を担当した最新映画「谷川さん、詩をひとつ作ってください。」(監督・杉本信昭)2015年度船橋市文化芸術ホール芸術アドバイザー。最新刊「パリヤーン・谷川賢作曲集」最新CDはDiVa「うたがうまれる」(TRBR-0016) 谷川賢作オフィシャルサイト <http://tanikawakensaku.com/>



今村陽太郎 (いまむら ようたろう / ドラム)

仙台出身。洗足学園音楽大学JAZZ科卒。これまで在籍したバンドで山野ビッグバンドコンテスト、横浜ジャズコンペティション、山中湖ジャズコンペティション等で入賞。現在はレギュラードラマーを務めるFrank Gordon(Tp)グループ等で演奏活動中。エネルギッシュ、かつ繊細なドラミングサウンドが魅力で、東北のみならず東京でも演奏活動を定期的に行う、今飛躍的に成長し続ける期待のドラマー。



佐藤弘基 (さとう ひろき / ベース)

岩手県奥州市生まれ。子どもの頃から歌が大好きで中学、高校の頃は弾き語りやバンドで歌ってばかりいた。大学在学中より見よう見まねの独学でベースを弾き始める。その後仙台を中心に演奏活動を始め、多くのミュージシャンと出会い、ベース弾きとしての貴重な経験を積む。1996年に岩手に戻り、以降は家業を継ぎながらの音楽活動となる。



齋藤寛 (さいとう ひろし / パーカッション) 仙台公演のみ

宮城県仙台市在住。20代にブラジル音楽に出会い、ブラジル音楽バンド「Areia Branca」、ショーロユニット「Choro em po」を結成。その後、本格的にパーカッショニストとして様々なジャンルで活動。2005-2008年まで「仙台・七夕まつり」にて市民参加型のサンバパレードをとりまとめ成功させる。打楽器をコミュニケーションツールとして活用した独自の「打楽器ワークショップ」を様々な施設や市民センター、音楽大学や楽器店などで開催。財団等を通じ、数多くの小学校で打楽器を用いたアウトリーチ活動も行っている。その他、セミナーやレッスン、教則本の執筆なども行い幅広く打楽器の魅力を広めている。地元である仙台を拠点として活動している「MONKEY MAJIK」のサポートパーカッションとして、全国ツアーやレコーディングに参加。

レコ発ツアー第2弾 2016年11月決定!

白河 (福島) 11/10 (Thu)
カフェバー 茶房 瑠 (さぼうる)
☎ 0248-21-9172

秋田 (秋田) 11/11 (Fri)
Cat Walk (キャットウォーク)
☎ 018-865-6699

水沢 (岩手) 11/12 (sat)
Harf Note (ハーフノート)
☎ 0197-47-1582

大崎 (宮城) 11/13 (sun)
醸室 (かむろ) 寺子屋ホール
お問合せ / 只野ピアノ工房
☎ 0220-34-3719